

《沼田ならではの新たな教育スタイル》沼田町一貫・連携教育

新学期、幼稚園13名、小学校131名、中学校73名、合計218名の児童生徒のよりよい成長を願い平成27年度の沼田町一貫・連携教育が始まりました。3つの「新たな」取り組みを紹介します。



▲ 4/20 沼小にて課題に取り組む53名の児童

★その1★ 学習サポート「明日萌」を参加しやすく小学校で実施！

日常学習サポート「明日萌」は昨年まで、月曜日ゆめくるで実施して来ましたが、今年度新たに、より参加しやすい形をめざし、沼田小学校の多目的室で行なっています。4月に2回行い、すでに延べ91名が参加しました。1年生から6年生まで、持ち寄った課題や、チャレンジテストに取り組んでいます。今後は、個々の力に合わせて、漢字検定10級から5級までの練習帳に取り組むなど、質の向上に努めます。参加者全員に達成感を持たせ、沼田っ子のさらなる意欲を引き出します。

★その2★ 学習サポート「明日萌」を参加しやすく小学校で実施！



▲ 4/27 第1回家庭地域部会新メンバーの皆さん

4月27日（月）第1回一貫・連携協議会家庭地域部会（松尾敦史部長）兼、親学セミナー（空知教育局主査 池田直也氏）が行われました。昨年度は、子ども達と保護者による、7回の生活リズムチェックシートによる生活習慣改善の取り組みを行いました。今年度新たに、子どもたちがより主体性を持つことをめざし、生活リズム表（日課表）作成に取り組んでもらっています。今後、生活リズムチェックシート等、生活習慣アンケートの実施と公表を1サイクルとして、年間3回実施すると共に、教育振興会生活グループの先生方との交流も予定しています。これらの取り組みを通して、「親と子」、「親と親」、「親と先生」が、共に育つ、共に育てる「共育の輪」を広げて行きます。

先生方との交流も予定しています。これらの取り組みを通して、「親と子」、「親と親」、「親と先生」が、共に育つ、共に育てる「共育の輪」を広げて行きます。

★その3★ 新メンバー8名を加え、心新たに進む一貫・連携教育！

5月8日（金）幼・小・中教職員が一堂に会し、第1回教育振興会総会、一貫・連携教育全体会議を開催し、27年度の活動を次のように確認しました。

- ① 10/28 一貫・連携公開研究会成功に向けての共通理解。
- ② 各グループによる活動計画と交流授業等について。

8人の新メンバー（本庄 修 園長・元木和芳小学校長・
木村一典教諭・田村 遥 補助教諭・佐々木舞子養護教諭・
中山彩里沙事務職員、中川 浩 之中学校教頭・祐川義人
教諭）を迎え、年度の早い時期に研修と親睦を深めました。左から、祐川、田村、中山、佐々木、木村、中川、元木（敬称略）
心新たに沼田町一貫・連携教育を進めます。



写真は、5月7日新規赴任教職員地域研修、ひばりヶ丘公園「教育発祥の地」石碑前でのひとこまです。

先人の思いを継承し、前へ、未来へ進みます。